



菊武学園フラッシュニュース

まだ残る震災の爪痕に衝撃 大学短大合同のボランティア隊



(ボランティア活動を終えて)



(海に見える命の森で桜などの植樹をする)

名古屋経営短期大学と名古屋産業大学合同の東日本大震災ボランティア隊（21名）は、3月7～12日まで、宮城県南三陸町と気仙沼市で震災、復興の手伝いや追悼式に参列しました。

ボランティア隊は、名産大生8名と名古屋経営短期大生13名。名古屋をフェリーで出発、8日夕南三陸町入り早速、植樹用の樹木の整理などにあたり、翌9日に同町歌津地区で男子学生は復興事業のわかめ袋詰め作業、女子学生はわかめ調理体験をしました。

復興に当たっている「KOT ネットワーク本吉」の案内で、同町志津川地区の被災の爪痕を見て回りました。大震災と同じ日の11日には、高木理事長も現地でボランティア隊と合流「海に見える命の森」で、桜などの植樹のボランティア活動に従事。午後は気仙沼市の「東日本大震災追悼式七回忌」に参列、犠牲者の方々の冥福を祈りました。

ボランティア隊リーダーの猪原梢太郎さん（3年）は「実際に被害者の方々の生の話を聞き、心に深く残りました」と話していました。

ボランティア隊は、菊武夏まつりの義援金5万円を、「KOT ネットワーク本吉」に贈り感謝されました。

人材育成など包括協定結ぶ 名産大と中小企業大学校瀬戸校



名古屋産業大学は2月26日、中小企業大学校瀬戸校（瀬戸市）と、講師の相互派遣や人材育成、就職支援などを視野に入れた包括連携協定を結びました。

中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校瀬戸校の早川克郎校長と高木弘恵学長が、協定書に署名をして締結を祝いました。開校30周年を迎える瀬戸校が大学と協定を結ぶのは初めて。

専門職大学の導入を目指している名産大は、今後、瀬戸校への研修参加企業で、学生にインターンシップで学んでもらい予定です。高木学長は「瀬戸校に大学の施設も利用してもらい地域貢献にも力を入れたい」と話しています。

1000名が菊武の学び舎を無事卒業 初の大学短大合同授与式 名産大の81歳に学長賞 独唱「仰げば尊し」に包まれた菊華高



(「仰げば尊し」を独唱する生徒＝菊華高校)



(華やかな雰囲気の中卒業式＝NWFB)



(ハイと元気な声で卒園。大きくなったら男児はサッカー選手、女児はケーキ屋さんが人気＝菊武幼稚園)

菊武学園の名古屋産業大学・大学院から菊武幼稚園まで7つの学校・園の卒業式は、3月17日までに、約1000名の園児、生徒、学生らが学び舎を巣立ち、無事に終了しました。

名古屋産業大学を81歳で卒業した三高枝子さん（尾張旭市）は、学び直したいと77歳で入学。卒論は「般若心経と人間形成」でした。高齢にもかかわらず通い続け、他の学生の範となったとして、学長賞を授与されました。

菊華高校の卒業式では、普通科アクトコースを卒業した鈴木綾美さんが、「仰げば尊し」を独唱し、澄んだ歌声が会場に流れました。菊武ビジネス専門学校では卒業生の半分が、英検など3種目の資格を取って巣立ちました。

高木弘恵理事長は「愛情教育と実践教育を学んだ自信をもち未来を歩んでほしい」と励ましの言葉を贈りました。



(初の大学・短大合同の学位授与式)



(81歳で学長賞に輝いた三高枝子さん)



(緊張して卒業証書を受け取る＝菊武ビジネス専門学校)

アマ登録求め署名2万5千人分



(橋本 JOC 副会長に署名を渡す)

名古屋産業大学ボクシング部員で、東京五輪出場を目指す高山勝成選手（34）は3月7日、都内で日本オ

リンピック委員会（JOC）副会長の橋本聖子参院議員に、アマチュア登録を求めて集まった約2万5000名分の署名を手渡しました。

署名は規約改正求め、昨年夏から、菊武学園夏まつりなど各学校・園の協力を得て、署名活動を進めてきました。今後は日本ボクシング連盟にも提出する予定です。

高山選手は「皆さまの温かいご支援で署名をJOCに出すことができました。五輪出場を目指して頑張ります」と、お礼を述べていました。

熱心な防火活動で全国表彰 菊武幼稚園 幼年消防クラブ



菊武幼稚園は3月7日、日本防火・防災協会から、熱心な幼年消防クラブの活動をみとめられ、愛知県の幼年消防クラブを代表して、唯一、表彰をうけました。

年長組約70人が毎年、春日井市内で防火の法被を着て「防火の誓い」を言い、太鼓などを鳴らしてプリティーパレードを披露し、市民に親しまれています。

自治体に消防組織が生まれて70周年を迎えるのを、記念して顕彰されたものです。